

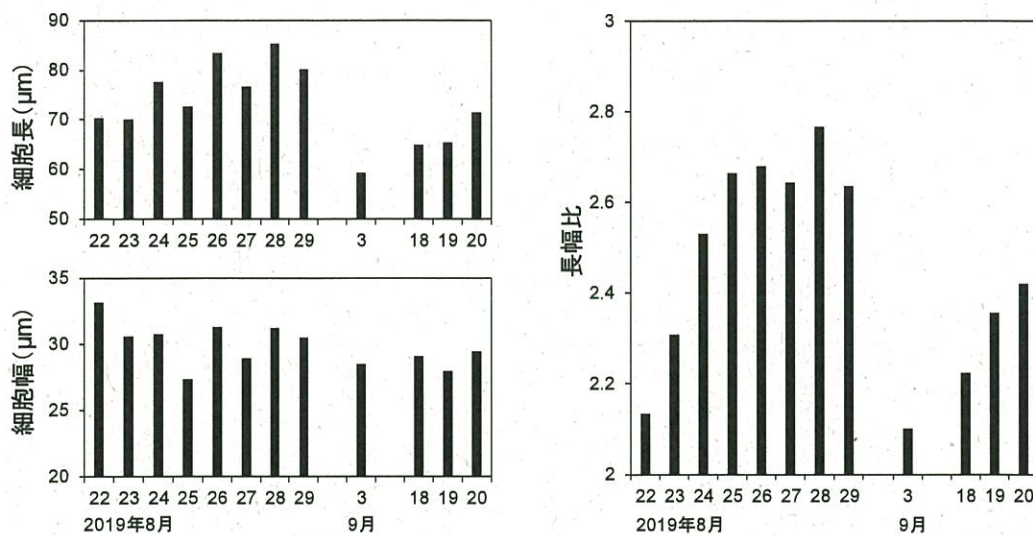


図 36. 八代海における *Chattonella* spp. の細胞サイズの経時変化 (全点平均値).

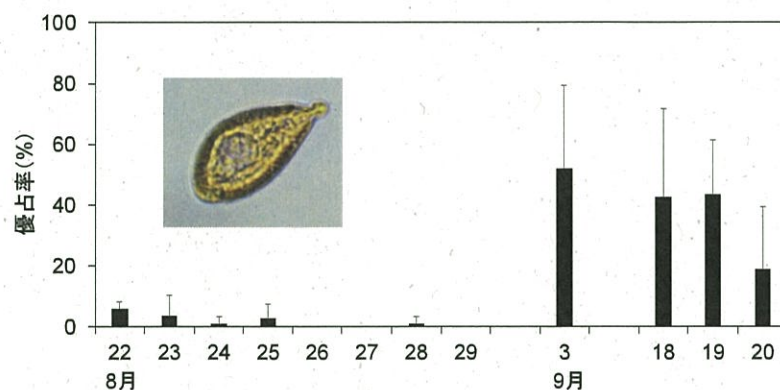


図 37. 八代海において観察された核が鮮明に見える *Chattonella* 細胞とその優占率の経時変化 (全点平均値 $\pm$ SD).

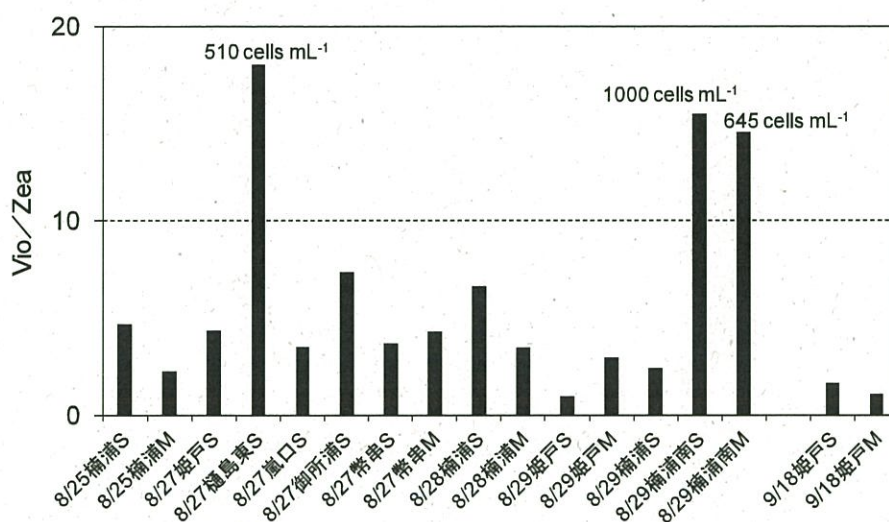


図 38. 八代海における Vio/Zea の経時変化. S および M は表層とクロロフィル蛍光値極大層.

Vio/Zea 値が高かったサンプルについては細胞密度を表記.

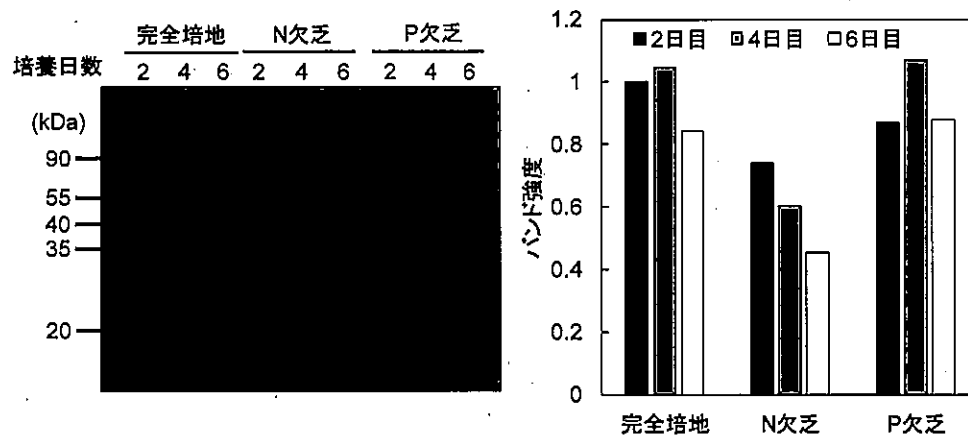


図 39. D1 タンパク質のウエスタンブロッティング解析結果.

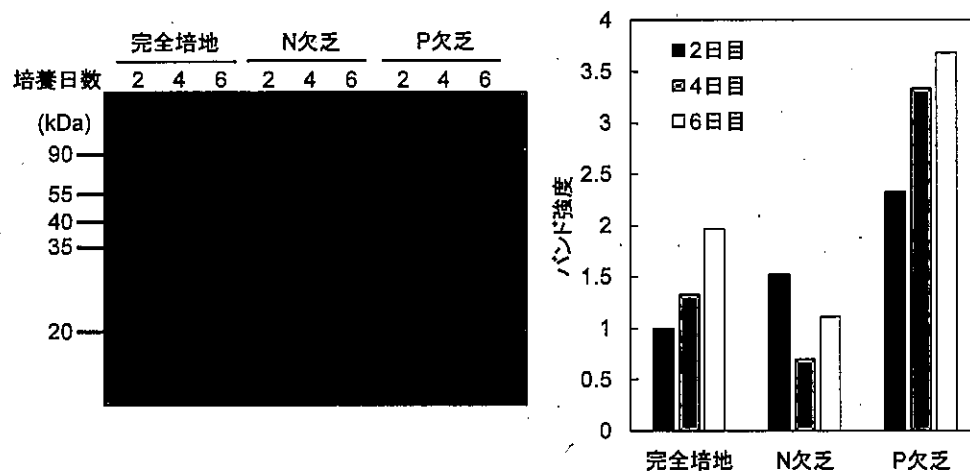


図 40. Rubisco large subunit のウエスタンブロッティング解析結果.

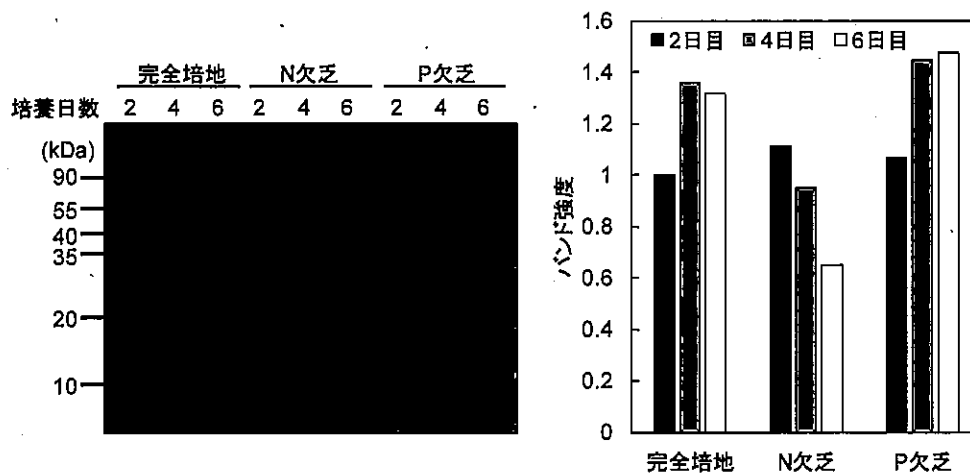


図 41. FCP のウエスタンブロッティング解析結果.

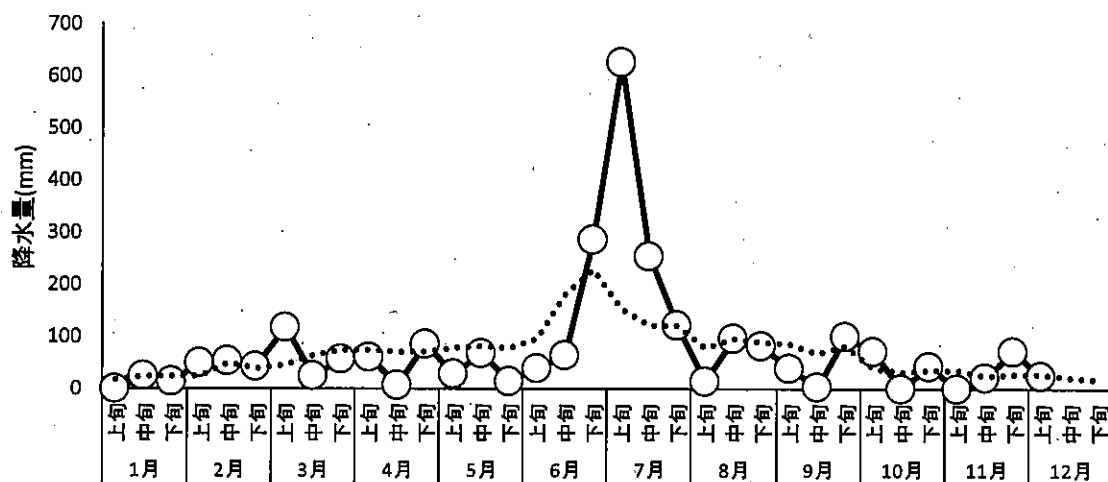


図 42. 2019 年の降水量の推移 (溝辺アメダス).

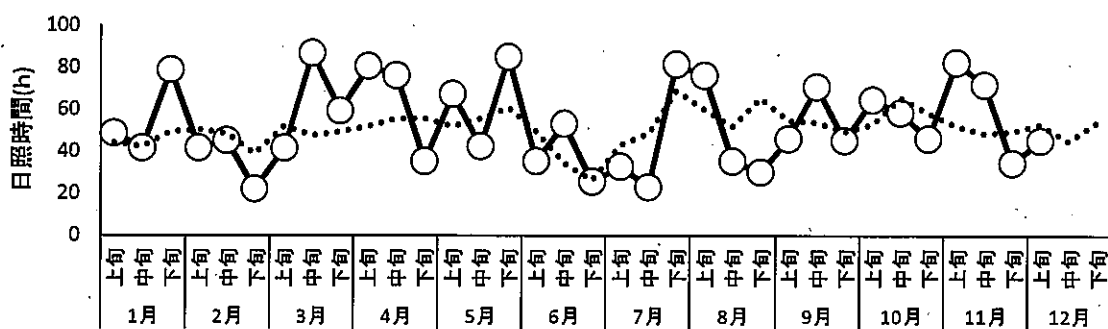


図 43. 2019 年の日照時間の推移 (牧ノ原アメダス). ○ : 2019 年, 点線 : 平年値.

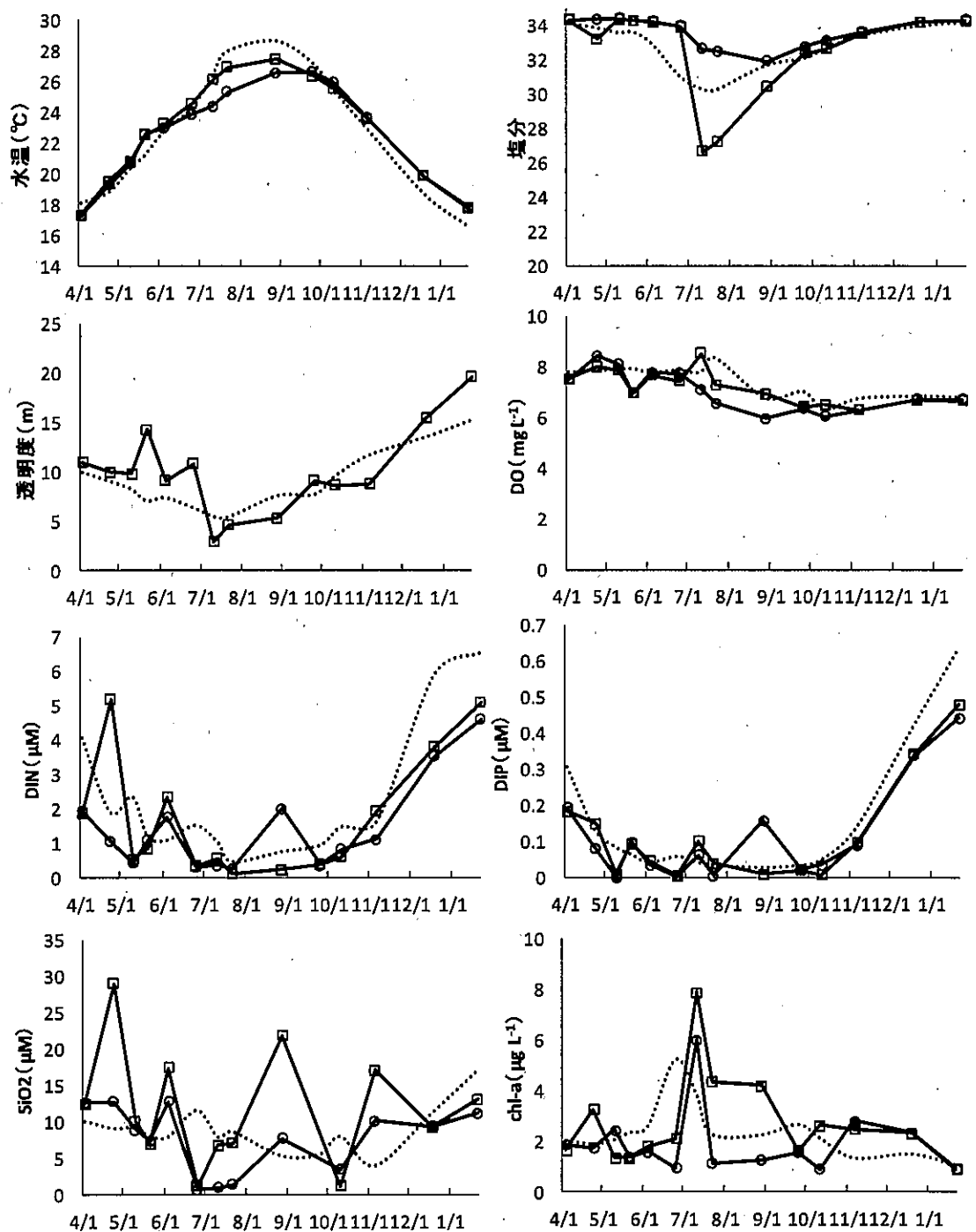


図 44. 鹿児島湾央における環境条件の推移。□：表層，○：10 m 層，点線：表層平年値。

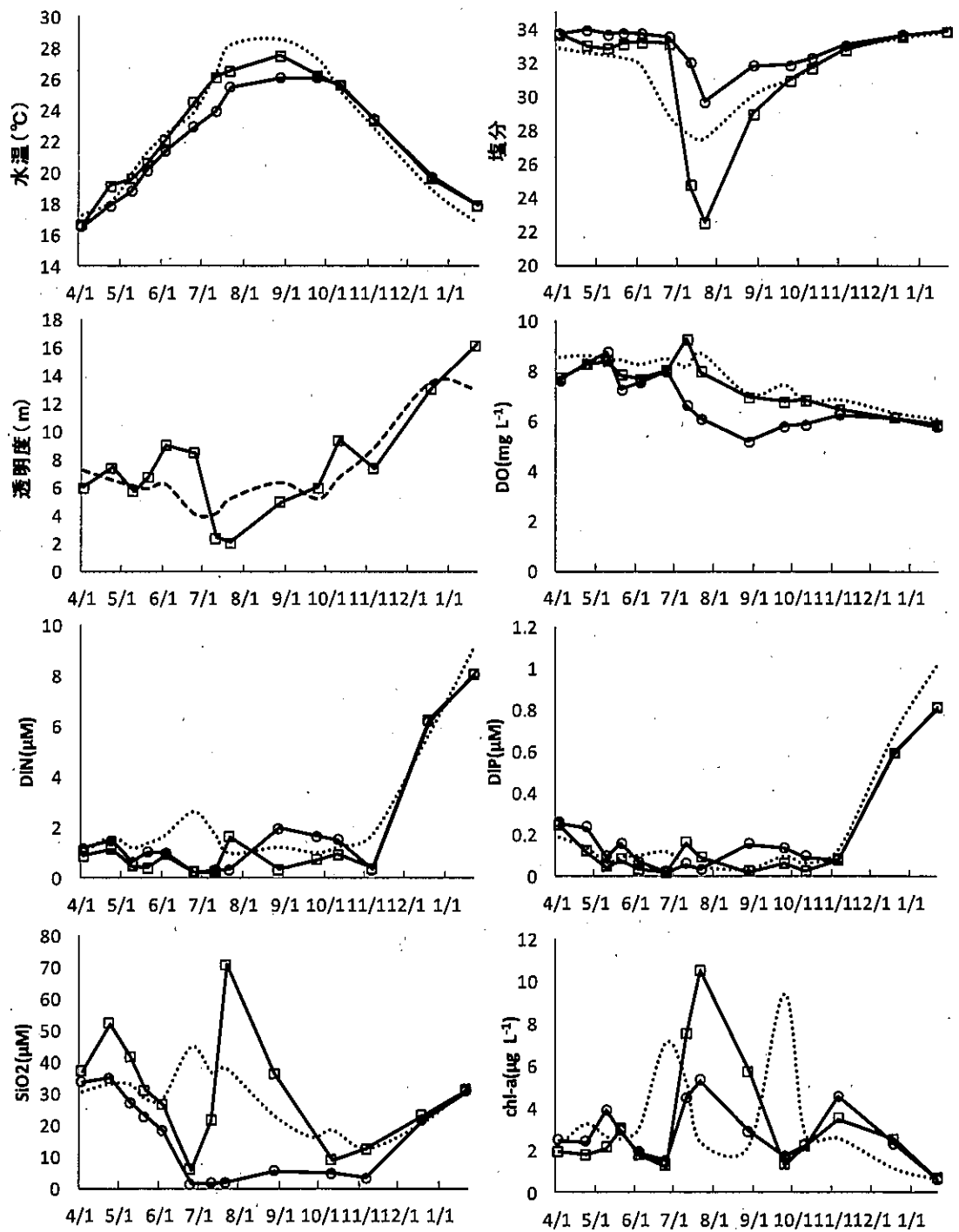


図 45. 鹿児島湾奥における環境条件の推移。□：表層，○：10 m 層，点線：表層平年値。

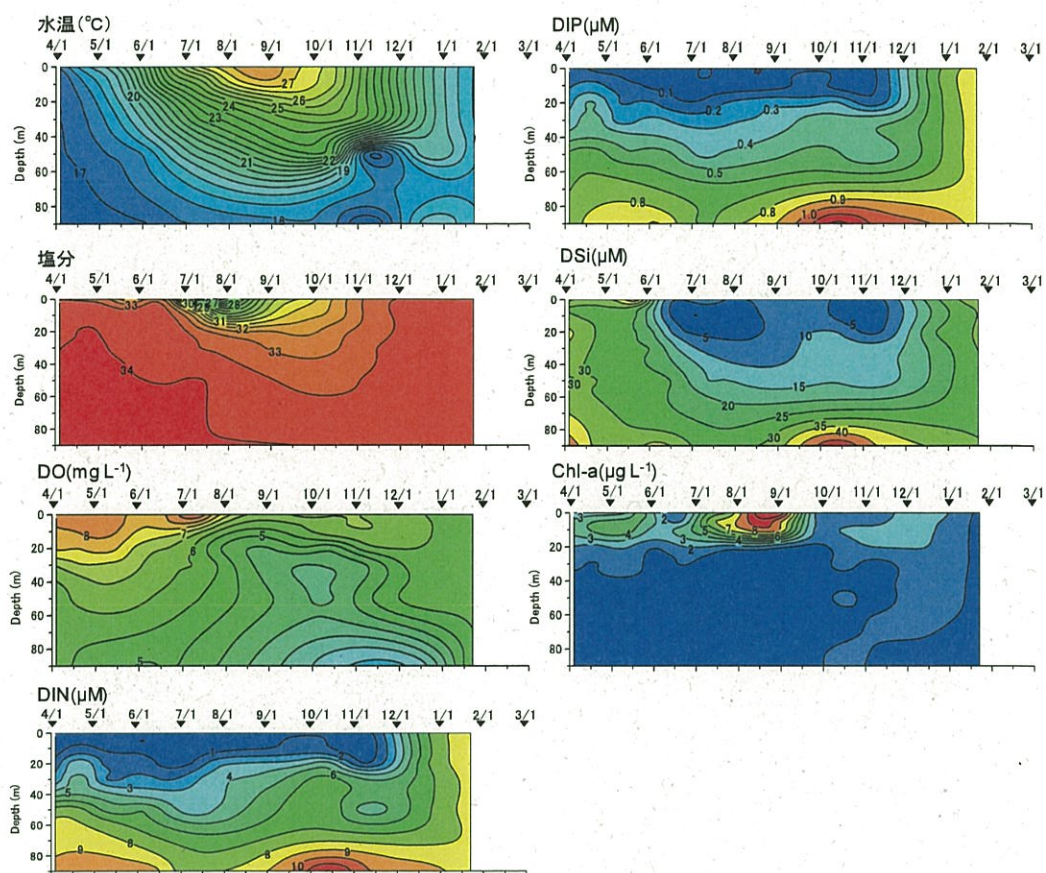


図 46. Stn. ⑪における環境条件のイソプレット。

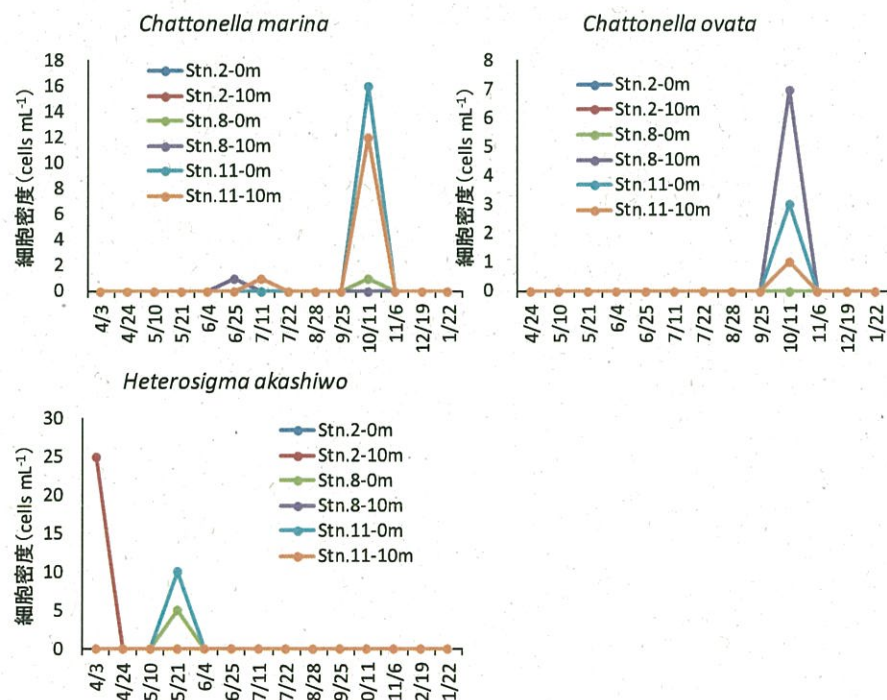


図 47. *Chattonella marina*, *Chattonella ovata*, *Heterosigma akashiwo* の細胞密度の推移。

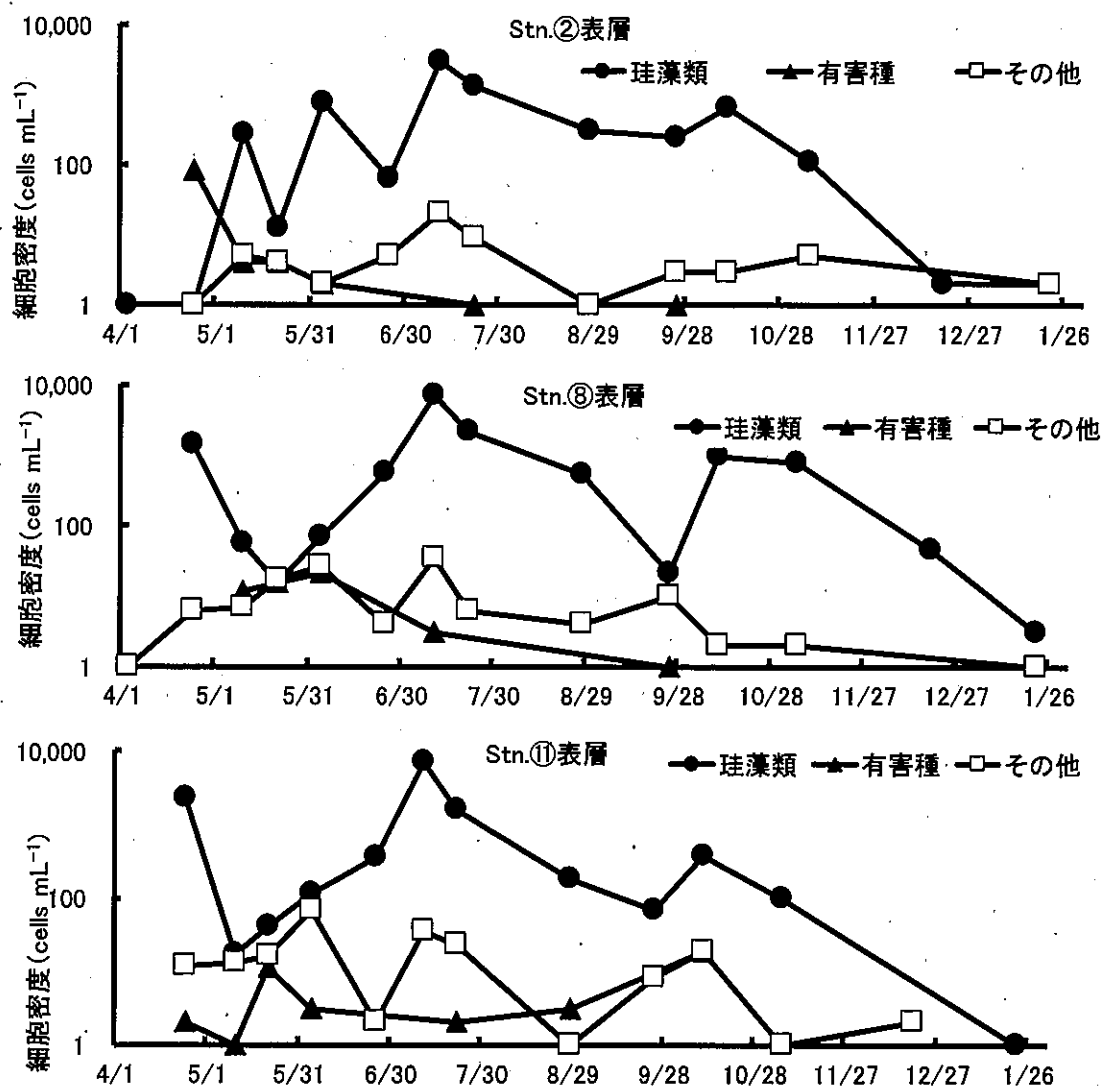


図 48. 鹿児島湾における植物プランクトンの組成変化 (Stn. ②, ⑧, ⑪ 表層).

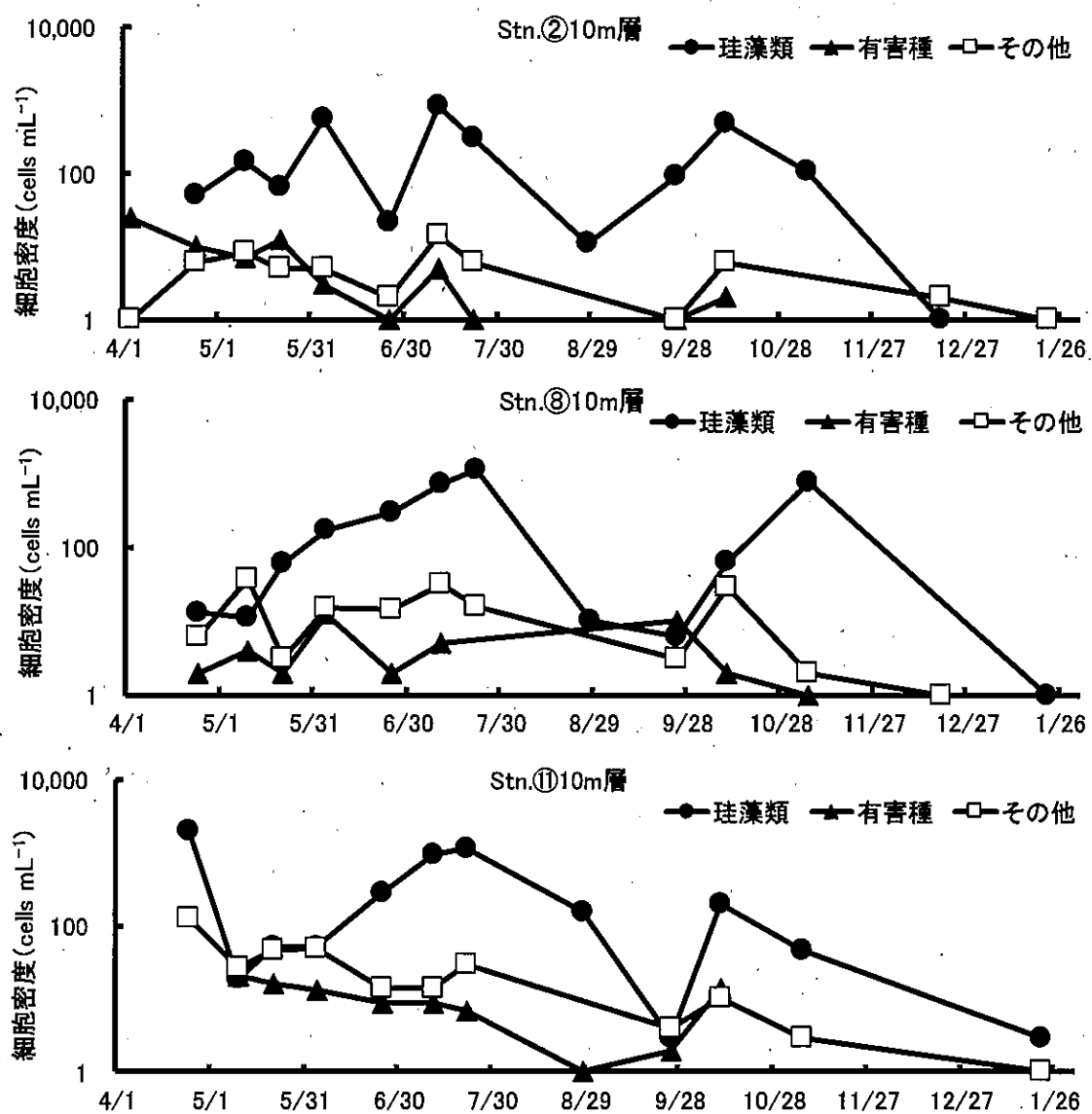


図 49. 鹿児島湾における植物プランクトンの組成変化 (Stn. ②, ⑧, ⑪ 10m 層).

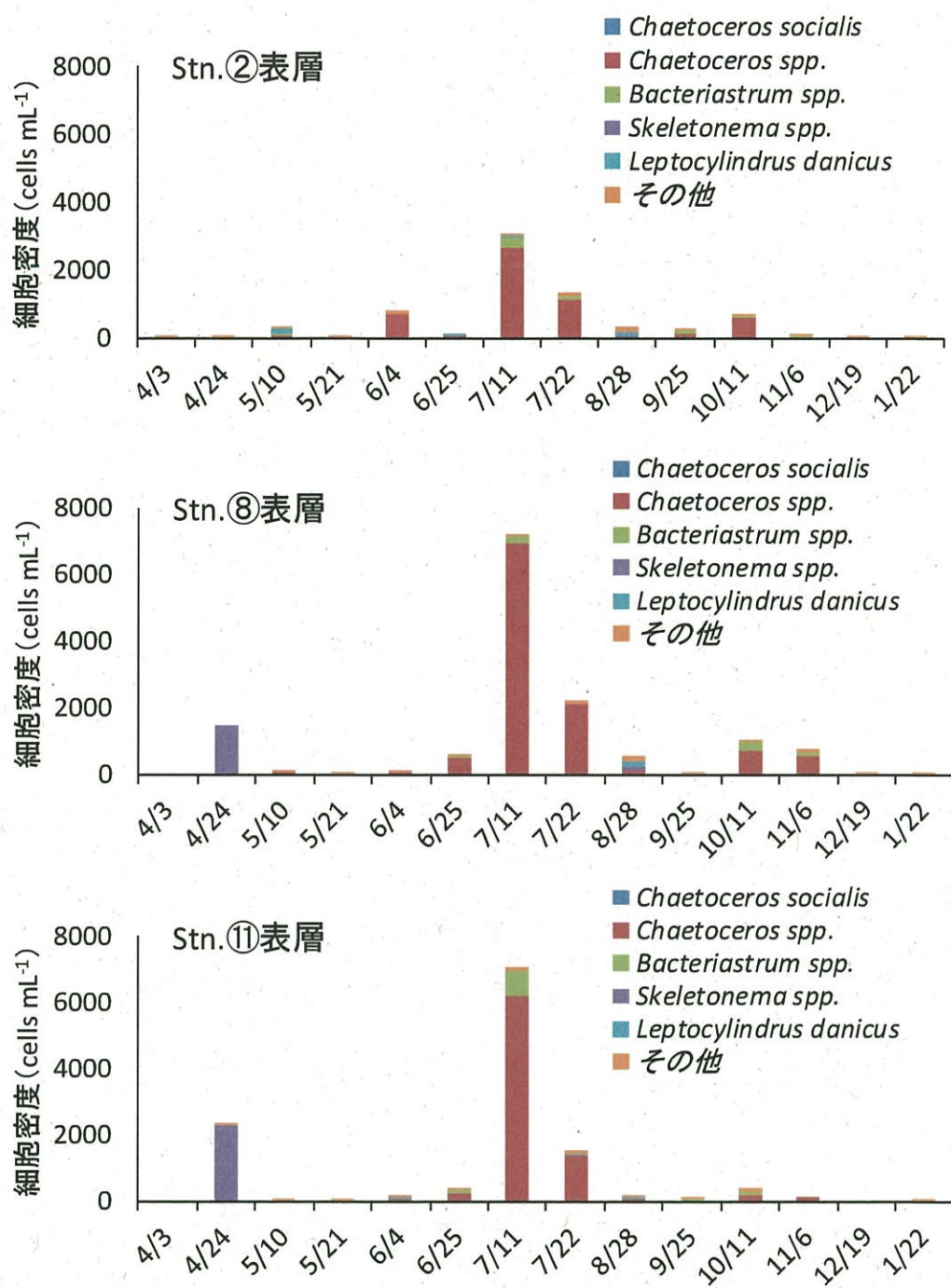


図 50. 鹿児島湾における植物プランクトン（珪藻類）の組成変化（Stn. ②, ⑧, ⑪表層）.

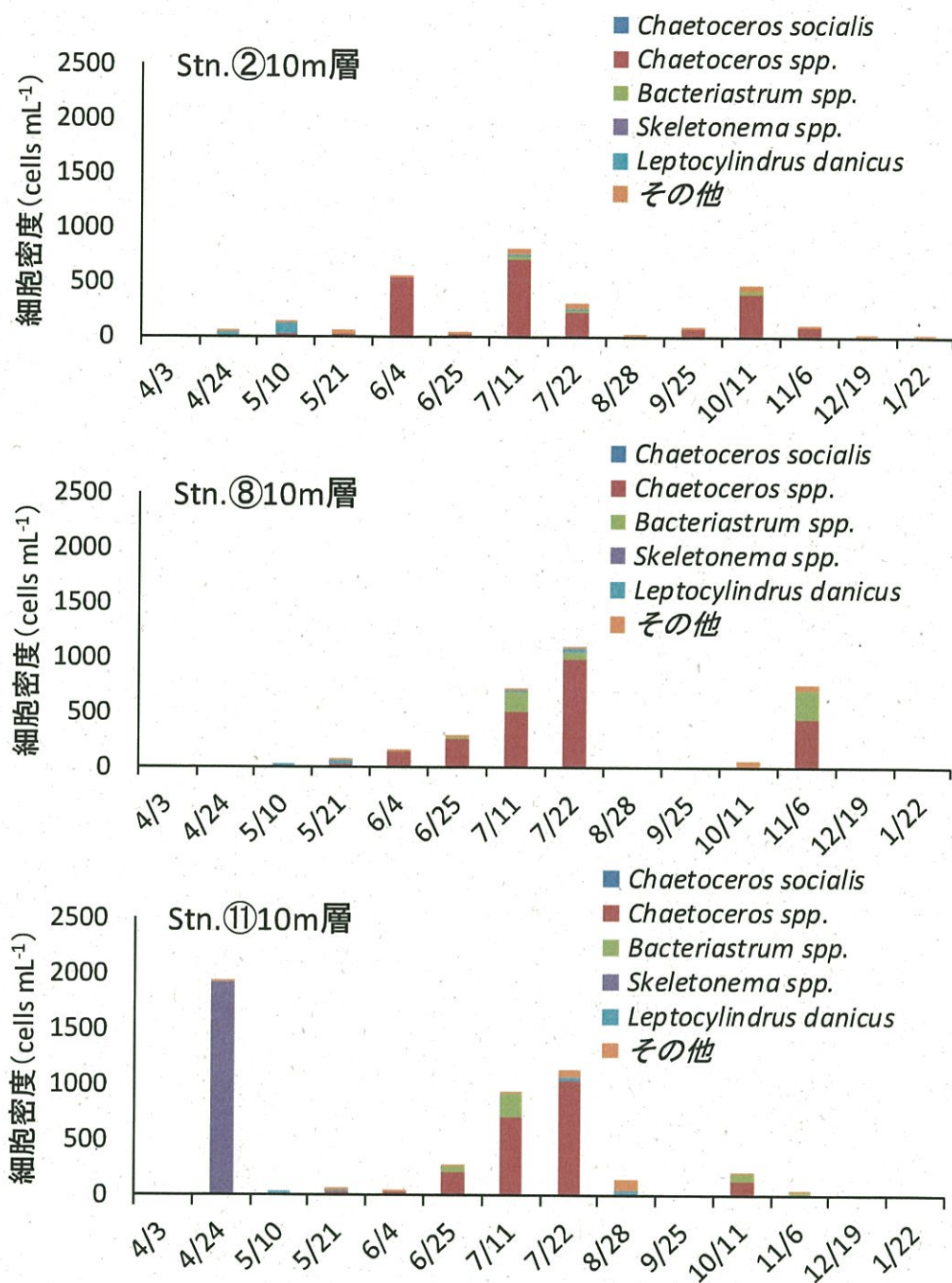


図 51. 鹿児島湾における植物プランクトン（珪藻類）の組成変化（Stn.②，⑧，⑪10m層）.

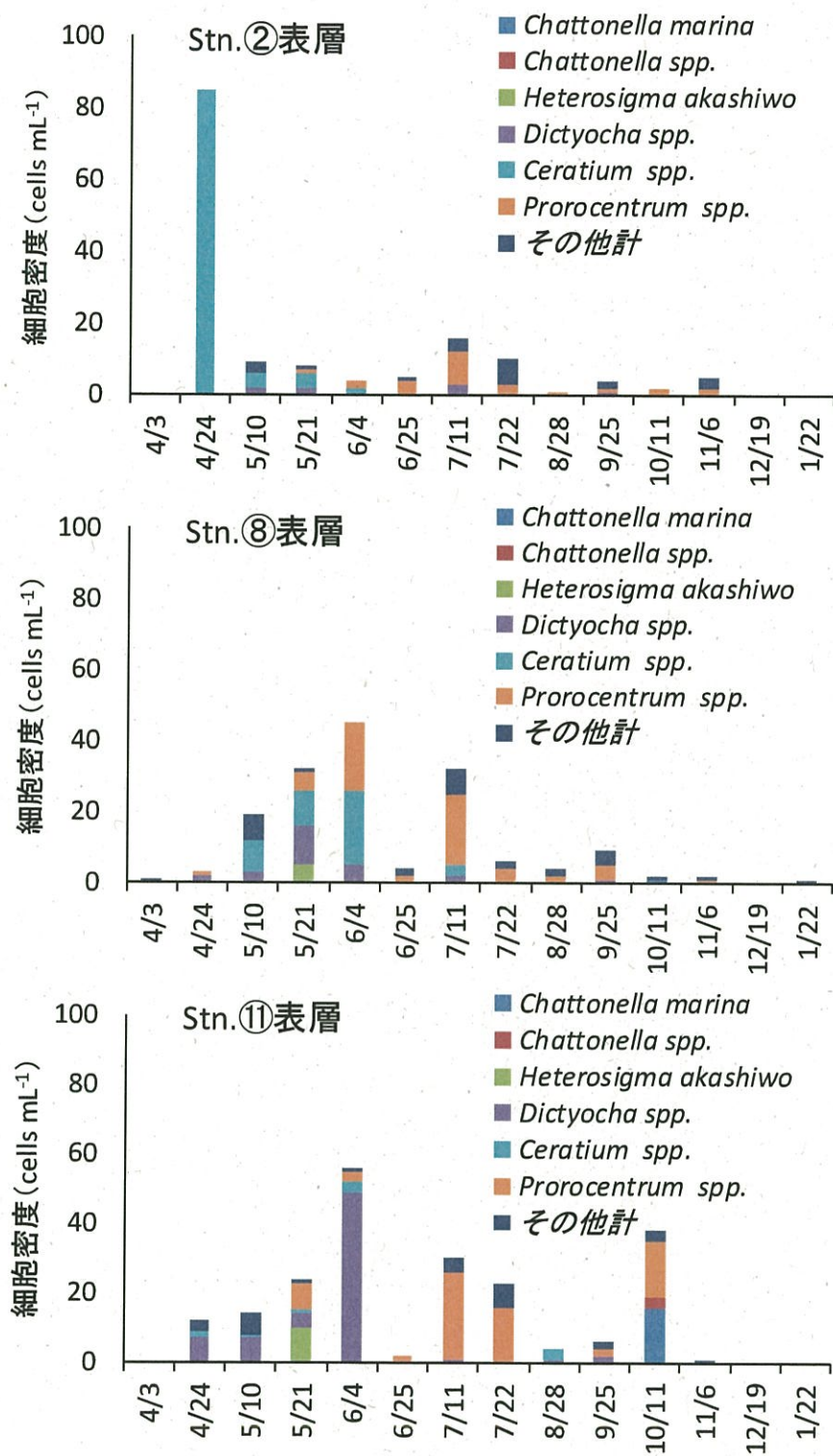


図 52. 鹿児島湾における植物プランクトン（鞭毛藻類）の組成変化（Stn. ②, ⑧, ⑪表層）.